

総合通信局での仕事を通して



北海道総合通信局無線通信部企画調整課

片山 静香 Katayama Shizuka

平成19年4月 総務省採用
北海道総合通信局総務部総務課
平成20年4月 北海道総合通信局情報通信部
電気通信事業課
平成21年8月 関東総合通信局総務部総務課
併任 情報通信政策研究所研究部
併任 情報流通行政局総務課
平成22年8月 現職

現在の業務

総合通信局では、情報通信を活用した地域の活性化、電気通信事業者や放送事業者の監督、無線局の免許・検査、電波利用環境の保護等の業務を行っています。

私が所属する企画調整課では、地域における周波数の管理、電波の有効利用の促進、無線局免許の電子申請の普及促進等の業務を行っています。

私はその中で、周波数の有効利用に資するための、電波を利用したシステムの技術的条件等に関する調査検討に係る業務に携わっています。この調査検討は、電波を利用した新しいシステム等について、試験的にシステムを構築して実証試験を実施し、その成果を技術基準・審査基準等に反映して、実際のシステムの導入を支援するものです。平成24年度は、平成24年4月からサービスが開始されたマルチメディア放送について、地下街等の閉鎖空間での効率的な送信システムに関する調査検討を行い、その技術的条件を報告書として取りまとめました。

職場の雰囲気

私は入局するまで電波に関する知識はほとんどありませんでしたが、周りの先輩や上司にアドバイスをいただくことができ、各種研修制度も充実しているため、とても働きやすい職場だと思います。

また、(特に女性の方へ) 職場では男女関係なく働くことができ、出産・育児の際には、産休や育休もしっかり取得することができるため、多くの女性職員が仕事と家庭を両立させて働いており、女性でも安心して働くことができると思います。

総務省の魅力

総務省では、日常生活にとっても身近な業務を行っています。中でも携帯電話等の情報通信は生活に不可欠なものとなっており、電波はその中で重要な役割を果たしています。

日々進歩している情報通信に関する業務に携わることで、様々な新しい知識を身につけることができ、また、幅広く人々の豊かな生活を支えることができるのが、総務省の魅力の一つだと思います。少しでも興味を持たれた方は、ぜひ総務省に足を運んでみてください。